

語研便り

大東文化大学 語学教育研究所広報(2019/6月)

研究発表会のお知らせ

2019年度、第2回研究発表会を下記のように開催いたします。
ふるってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日 時 : 2019年6月17日(月) 11時 ~
場 所 : 大東文化大学板橋校舎 2号館6階 語学教育研究所

① 発表者 : **上田 裕 先生(外国語学部 中国語学科)**

題 目 : 曲がり角の数え方と事態把握 一日中対照の観点から—

内 容 : 地図を用いた道順の説明に際して、中国語話者には、日本語話者よりも曲がり角を一つ多く数える人が少なからず存在する。こうした差異には、両言語で好まれる事態把握の違いが反映されていると考えられる。本発表では、主観的把握を好む日本語話者は狭い視野から事態を把握するため最初の曲がり角が視野に入りにくいこと、客観的把握を好む中国語話者は広い視野から事態を把握するため最初の曲がり角が視野に入りやすいことを主張する。

② 発表者 : **高野 愛子 先生(外国語学部 日本語学科)**

題 目 : 学術的文章における「違う」をめぐる文体上の適切性

内 容 : レポート・論文などの学術的文章において、「違う」は文体的に不適切であり「異なる」を用いることが適切であると考えられる。しかし、大学生を対象とした調査の結果、学術的文章として「違う」が文体的に不適切であると認識している割合は、日本語母語話者・非母語話者ともに極めて低かった。また、大学教員による運用例の添削状況からも許容される場合が多く見られたことから、学術的文章において「違う」が文体的に適切であるか検討する。

以上

主催: 語学教育研究所